



現在の風景



こんびらぐう
岩井地内金比羅宮の写真

(昭和47年3月ごろ) (松田太郎さん提供)

岩井地内にある「金比羅宮」の写真です。当時と現在とを比べると正面の道路が舗装され、敷地内にある木が成長し、そして写真奥に泉野小学校が建設されるという具合に周囲は変わっていますが、鳥居や社は、まるでそこだけ時の流れが止まったかのように当時のままです。

徒然歳時記

ホタル



「夏は夜 月の頃はさらなり 闇もなほ
螢の多く飛び違ひたる また ただ一つ二つ
など ほのかにうち光りて行くも をかし」

これは平安時代中期の女流作家清少納言により執筆された随筆「枕草子」の一節です。口語訳では、「夏は夜がよい。月の出ているころはいうまでもなく、闇夜でさえやはり、螢がたくさん乱れ飛んでいる光景はいいものだ。また、ほんの一匹二匹と、かすかに光って飛んでいくのもいいものだ」とされます。このように平安の昔からホタルは、日本の夏の風物詩として親しまれてきたといえます。

ホタルのなかでもゲンジボタルは、その発光パターンが西日本と東日本で違い、富士山を境に西日本に生息するホタルのほうが発光のテンポが速いそうです。

日本におけるホタル観賞のことをホタル狩りといいます。町内でもホタル狩りを楽しめる場所がありますが、河川の水質浄化が進めば、町内のもっとたくさんの川で、ホタルの乱舞を見ることが出来るようになるでしょう。皆さんも初夏の風情を楽しみにホタル狩りに出かけてみてはいかがでしょうか。ただし、ホタル狩りだからといって、くれぐれもホタルを捕まえたりはしないでくださいね。

わがやのアイドル



佐々木 仁菜ちゃん
(1歳1か月)

大好きな杏実お姉ちゃんの後ろからハイハイで追いかけてます。早くお姉ちゃんと一緒に歩きたいな・・・



仲井 健悟くん
(2歳7ヶ月)

今年の春から週一回、幼稚園に通い始めました。早く同年代のお友達がたくさんできるといいね!

編集後記

本年1月に埼玉県から推薦をうけた「広報もろやま・平成19年8月20日号」ですが、この度全国広報コンクールの審査結果が発表され、町村の部で5席に入選をしました。なんと全国6位です。頑張ると報われるものですね。これを励みにもっと皆さんに愛される広報を作るため頑張っていきたいと思ひます。(1)

広報もろやま 6月20日号 No.814 〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
 ■発行 毛呂山町 TEL 049(295)2112 Fax 049(295)0771
 ■編集 秘書広報課広報広聴係 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

人口 37,152人(-26人)
 【男18,555人(-2人) 女18,597人(-24人)】
 世帯 14,858戸(+1戸)
 ※平成20年6月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。